



明るく たくましい 明世の子 「きらきら明世小」

ピカリア

令和5年度
瑞浪市立明世小学校
NO. 1
R5. 4. 7

「明るく たくましい 明世の子」をめざす

瑞浪市立明世小学校 校長 加納礼爾

新年度が始まりました。お子様のご入学並びにご進級、誠におめでとうございます。

令和5年度は、新入生39名を迎え、全校児童190名、9学級でスタートしました。

学校の周りがある桜の木は、ソメイヨシノとは時期を異にして、赤い花、八重の花を、それぞれ咲かせています。葉と同時に白い花を咲かせる木もあります。どの花も、きれいです。

その桜の木々のように、「一人一人の笑顔が輝く 明世小学校」をめざして、学校の教育目標「明るく たくましい 明世の子」の具現のため、次の3つを大切にします。

○いのちを大切にする子 ~自分の命を守る 周りの人の命を守る~

ガラスの近くでボール遊びをしないこと、自転車に乗るときはヘルメットをかぶることも、自分の命を守ることに繋がります。マスクを自分の判断で脱着するようになります。自分の体調や気温、人数などの状況から、判断し行動する力をつけていきます。

そして、周りの人の命も大切にする子にします。分団登校で、小さな子を守りながら歩いたり、配膳時にマスクをつけて飛沫を防いだりすることも、自分以外の人を大切にする行為です。判断や配慮の大切さを子供たちに伝え、育てていきます。

○こころを大切にする子 ~思いやりの心を持ち、ルールを守って生活する~

学校は、多くの人と一緒に様々な活動をするを通して学ぶ場所です。一緒に活動する中で、いじめは絶対に許さないことは勿論、思いやりの心を持ち、ルールを守って生活するよう、子どもたちを認め励ましていきます。また、苦しいときはSOSを出し、自分の心を守れるようにします。

○仲間や地域の方と学ぶ時間を大切にする子 ~人の話を聞く、よりよい答えをつくる~

「わかった」「話したい、説明したい」という子どもたちの意欲が高まるように授業を工夫します。そのうえで、仲間の考えを最後まで聞く、考えの違いを認め合う、よりよい答えを導き出すという、仲間と学ぶよさを感じる授業を大切にします。また、コミュニティ・スクールとして、地域の方とともに学習し、地域の人やふるさとのよさを体感する授業をつくるよう、体制を整えていきます。

換気や消毒などの感染予防策をとりながらではあるものの、合唱や対面での活動も行えるようになります。子どもたちには、グラウンドやあきよ山を駆けまわり、健康できらきら笑顔になってほしいです。当然、転んでけがをすることもある、時には喧嘩もあるでしょう。そんなとき、大きなけがにしない方法、喧嘩を解決する方法、話し合い方など、子どもたちに身につけていくようにしたいです。それが、「たくましい明世の子」につながると考えます。

今年度も、ご支援・ご協力をお願いいたします。

